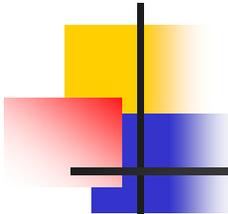


VoiceXML部会活動の紹介

XMLコンソーシアムWEEK
2002年5月30日

VoiceXML部会運営委員
日本アイ・ビー・エム
村上光

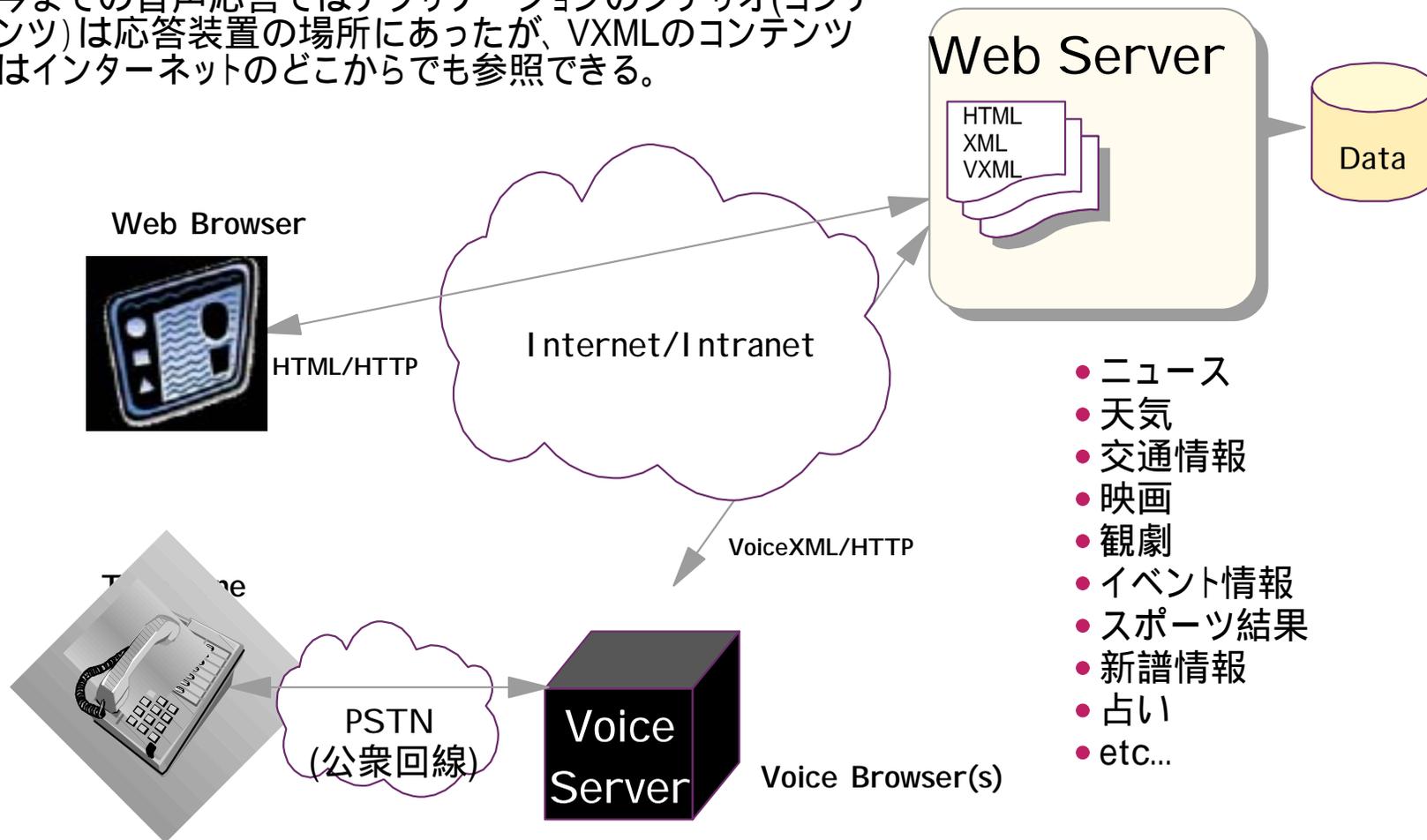


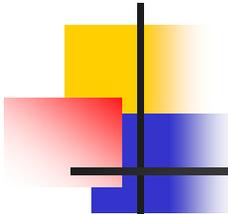
VoiceXML とは

- Web アプリケーションと音声ユーザインタフェースを結び付ける新しい記述言語
 - Web アプリケーションの中に、音声認識、音声合成など音声インタフェース機能を組み込めるXML に基づいたオープン仕様
 - W3C での標準化進行中
- 主なアプリケーション
 - 音声ポータル: 電話からの音声によるWeb 情報アクセス
 - CTI/コールセンタ: 自動音声応答システムの開発効率向上
 - 従来: CTI サーバに独自ツールで応答アプリ作成
 - 今後: VoiceXML 利用によりWeb コンテンツ的に作成

ボイス・ポータル

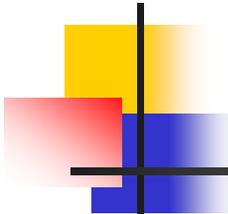
今までの音声応答ではアプリケーションのシナリオ(コンテンツ)は応答装置の場所にあったが、VXMLのコンテンツはインターネットのどこからでも参照できる。





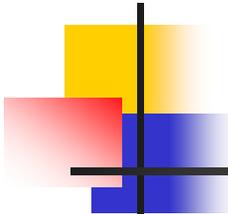
VoiceXML部会の目的

- VoiceXMLを始めとする、音声応用に向けたXML関連技術の普及促進
- VoiceXML関連技術スキルの蓄積とメンバー間での情報共有を図る
- VoiceXML等を利用した音声適用業務の開発及び利用促進



VoiceXML部会の現状

- 参加企業数：約70社
- 部会登録者数：106名(2002年1月時点)
- 4つのワーキンググループ
 - 技術検討WG
 - VoiceXMLおよび同種技術、関連技術の技術的検討・評価と、
 - VoiceXML仕様の日本語向け修正提案に関する検討
 - アプリケーションWG
 - ビジネスモデルやコンテンツを含めた、国内市場向けアプリケーションの検討・評価
 - 仕様和訳WG
 - VoiceXML仕様書の和訳と、国内利用普及に向けたJIS/TR化
 - 情報発信WG
 - VoiceXML関連情報の発信



定例部会

- 1 ~ 2 ヶ月に1 度の頻度で開催
 - VoiceXML 技術に関連するチュートリアル/講演
 - VoiceXML を利用した製品/サービス紹介
 - ワーキンググループの活動報告
- 最近の定例部会アジェンダ
 - VoiceXML部会第6回部会 2002年2月13日
 - 部会長/幹事からの挨拶
 - SALT紹介及びマイクロソフトのSALT開発ツール マイクロソフト株式会社 金子 宏 氏
 - WebSphereの音声アプリケーション開発ツール 日本IBM株式会社 室園 秀一 氏
 - XHTML+Voiceの簡単な紹介 日本IBM株式会社 村上 光 氏
 - VXML開発環境、及び開発ツールの現状と今後 シナプスフォン 吉田 創 氏
 - MITシステム研究所のVoiceXMLへの取り組み MITシステム研究所 杉江 健司 氏
 - ワーキンググループ活動状況報告
 - VoiceXML部会第7回部会 2002年4月18日
 - 部会長/幹事からの挨拶
 - MMI記述言語開発への取組みについて: XISL, W3C-MMIWG ほかの紹介 豊橋技術科学大学 新田 恒雄教授
 - Web・音声統合サービス基盤技術の紹介 日本電気株式会社 村上 隆浩 氏
 - Vポータルの紹介 NTTコミュニケーションズ株式会社 荒井和博 氏
 - ワーキンググループ活動状況報告